

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-10073
(P2004-10073A)

(43) 公開日 平成16年1月15日(2004.1.15)

(51) Int. Cl.⁷

B65D 41/42

F I

B 6 5 D 41/42

A

テーマコード (参考)

3 E 0 8 4

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2002-163117 (P2002-163117)
(22) 出願日 平成14年6月4日 (2002.6.4)

(71) 出願人 394015246
チョーヤ梅酒株式会社
大阪府羽曳野市駒ヶ谷160番地の1
(74) 代理人 100074206
弁理士 鎌田 文二
(74) 代理人 100084858
弁理士 東尾 正博
(74) 代理人 100087538
弁理士 鳥居 和久
(72) 発明者 金銅 俊二
大阪府羽曳野市駒ヶ谷160番地の1 チョーヤ梅酒株式会社内

最終頁に続く

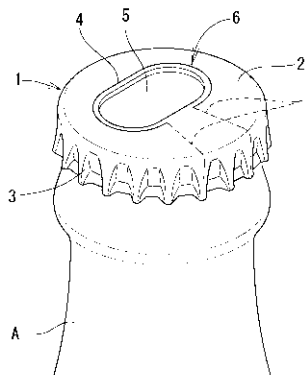
(54) 【発明の名称】 容器の封緘具

(57) 【要約】

【課題】 瓶口に対して閉栓した王冠を手で開栓することができるようにし、栓抜きを必要とすることなく内容物を飲用できる容器の封緘具を提供する。

【解決手段】 天板2の周囲に絞り加工用のスカート3を設けた王冠1において、上記王冠1の天板2に、一部切り離しの環状となるスリット4で囲まれ部分と、このスリット4で囲まれた部分に設けた指かけ凹部5とで形成されタブ6を引き起し可能に形成し、上記王冠1の天板2とスカート3に、スリット4の両端の位置からスカート3の端縁に達するスコア7が設けてある。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

封緘具が、天板の周囲に絞り加工用のスカートを設定した王冠であり、この王冠の天板にタブを引き起し可能に形成し、上記王冠の天板とスカートに、タブの両側の位置からスカートの端縁に達するスコアを設定した容器の封緘具。

【請求項 2】

封緘具が、天板の周囲に環状の周壁を設定した金属製のキャップであり、このキャップの天板にタブを引き起し可能に形成し、上記キャップの天板と周壁に、タブの両側の位置から周壁の端縁に達するスコアを設定した容器の封緘具。

【請求項 3】

前記タブは、天板に施した一部切り離しの環状となるスリットで囲まれた部分と、このスリットで囲まれた部分に設けた指かけ凹部とで形成され、前記スコアは、上記スリットの端部からスカート又は周壁の端縁に達するように設けられている請求項 1 又は 2 に記載の容器の封緘具。

10

【請求項 4】

前記タブは、天板に施した一部切り離しの環状となるスリットで囲まれた部分と、このスリットで囲まれた部分の内側に設けた指かけ孔とで形成され、前記スコアは、上記スリットの端部からスカート又は周壁の端縁に達するように設けられている請求項 1 又は 2 に記載の容器の封緘具。

【発明の詳細な説明】

20

【0001】**【発明の属する技術分野】**

この発明は、各種液体を充填した容器の口部を密閉する封緘具、更に詳しくは、栓抜きを必要とすることなく、手で簡単に開栓できるようにした容器の封緘具に関する。

【0002】**【従来の技術】**

例えば、ビール瓶等の瓶容器の口部の閉栓に多く使用されている王冠は、瓶口に強く締め付けて閉栓することで、密封性が高く高速生産性があり、飲用時の飲み口を清潔に保ち、更に、滑らかな丸みを帯びた飲み口に対する閉栓が可能であるという利点がある。

【0003】

30

また、飲用物の容器における口部を密閉するための封緘手段として、天板の周囲に環状の周壁を設け、この周壁の下縁における一か所に開封用のリンプルを突設し、容器の口部に嵌着した状態で周壁を容器の周囲に巻き締めるようにしたアルミキャップも採用されている。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

ところで、従来の王冠は、瓶口に対して、周囲のスカート部分を瓶口の周囲に巻き閉めて固定されているので、開栓時に必ず栓抜きが必要になり、栓抜きがないと内容物を飲用することができないという不便がある。

【0005】

40

また、従来のアルミキャップは、周壁に設けたリンプルが下方に突出することになり、このため、アルミキャップを覆うようにして容器に替栓やオーバキャップを取り付けようとしても、リンプルを逃がすために容器の構造に工夫が必要になり、リンプルが邪魔になる分だけ容器や替栓、オーバキャップの寸法が長くなる。

【0006】

さらに、容器の外周をシュリンクフィルムで覆う場合、リンプルの部分が飛び出すことになり、シュリンクフィルムによる包装の仕上がり形態が悪くなるという問題がある。

【0007】

そこで、この発明は、瓶口に対して閉栓した封緘具を天板の部分で開栓することができるようにし、栓抜きを必要とすることなく開栓して内容物を飲用できるだけでなく、アルミ

50

キャップにおいては、リンブルに起因する問題点を解決することができる封緘具を提供することを課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記のような課題を解決するため、この発明は、封緘具が、天板の周囲に絞り加工用のスカートを設定した王冠であり、この王冠の天板にタブを引き起し可能に形成し、上記王冠の天板とスカートに、タブの両側の位置からスカートの端縁に達するスコアを設定した構成を採用したものである。

【0009】

また、封緘具が、天板の周囲に環状の周壁を設定した金属製のキャップであり、このキャップの天板にタブを引き起し可能に形成し、上記キャップの天板と周壁に、タブの両側の位置から周壁の端縁に達するスコアを設定した構成を採用したものである。

10

【0010】

上記タブは、天板に施した一部切り離しの環状となるスリットで囲まれ部分と、このスリットで囲まれた部分に設けた指かけ凹部とで形成され、前記スコアは、上記スリットの端部からスカート又は周壁の端縁に達するように設けられている構造とすることができる。

【0011】

また、上記タブは、天板に施した一部切り離しの環状となるスリットで囲まれ部分と、このスリットで囲まれた部分の内側に設けた指かけ孔とで形成され、前記スコアは、上記スリットの端部からスカート又は周壁の端縁に達するように設けられている構造としてもよい、

20

【0012】

上記封緘具で瓶口を閉栓した状態で開栓するには、指かけ凹部又は指かけ孔に指先をかけて天板からスリットで囲まれたタブを引き起し、このタブをスコアの方向に引っ張ればよく、両側のスコアが引き裂かれ、封緘具からタブと両側スコア間の部分が離脱し、封緘具の残った部分は瓶口から簡単に取り外すことができる。

【0013】

このように、封緘具の天板に直接タブを形成すると、開封手段として別の材料を用いる必要がなく、コスト的に有利となると共に、封緘具の下縁からの突出物がなくなることで、キャップの下縁に突設したリンブルに起因する問題点を解決することができる。

30

【0014】

【発明の実施形態】

以下、この発明の実施形態を図示例と共に説明する。

【0015】

図1と図2は、封緘具の第1の実施の形態として王冠1を示し、王冠1は材料に金属板を用い、円形の天板2とその周囲に環状のスカート3を設けて形成され、ビール瓶等の瓶容器Aの瓶口に嵌合した状態で、スカート3を絞り加工することにより、瓶口を閉栓するようになっている。

【0016】

上記王冠1の天板2には、天板2に施した一部切り離しの環状となるスリット4で囲まれた部分と、この環状スリット4で囲まれた部分に設けた指かけ凹部5とで形成されたタブ6が設けられている。

40

【0017】

この一部切り離しの環状となるスリット4は、横長円形となるタブ6の外形となり、タブ6の平面的な大きさは、天板2の平面形状の範囲で指先で摘める大きさに設定すると共に、指かけ凹部5はタブ6を天板2から引き起こすためのものであり、プレス加工によって天板2の一部を凹入させることにより、指先を引っ掛け易いように形成されている。

【0018】

このように、王冠1の天板2に直接タブ6を形成することにより、開封手段として別材料のリングタブを設ける場合に比べて材料コストの面で有利となる。

50

【0019】

上記王冠1の天板2とスカート3には、スリット4の両端部からスカート3の端縁に達する二本のスコア7が並列状に設けられている。

【0020】

図3と図4は、封緘具の第2の実施の形態として王冠1を示している。なお、上記第1の実施の形態と同一部分には同一符号を付して説明に代える。

【0021】

この第2の実施の形態の王冠1は、天板2に直接設けたタブ6が、天板2に施した一部切り離しの環状となるスリット4で囲まれ部分と、この環状スリット4で囲まれた部分に設けた指かけ孔9とで形成され、前記スコア7は、上記スリット4の両端部からスカート3の端縁に達するように設けられている。 10

【0022】

第1と第2の実施の形態の王冠1は、上記のような構成であり、王冠1における天板2の内面には、スリット4の形成に対して密閉性を向上させるために、合成樹脂等の薄いシート状や塗膜状のシール部材8を設けておく。

【0023】

内容物の入った瓶容器Aに対して上記王冠1を瓶口に嵌合し、周囲のスカート3を絞り加工することにより、瓶口を閉栓する。なお、第2の実施の形態の王冠1においては、天板4がタブ6に設けた指かけ孔9の形成によって開口状となるので、天板4の内面側に、タブ6と対応する部分が内側に凹入する裏当てプレート10を重ねて配置するようにし、この裏当てプレート10の内側にシール部材8を設けている。 20

【0024】

この王冠1を取り除いて瓶容器Aを開栓するには、指かけ凹部5又は指かけ孔9に指先をかけ、スリット4で囲まれたタブ6を天板2から引き起し、このタブ6を両スコア7の方向に引っ張ればよく、両側のスコア7はスリット4の端部からスカート3の端縁に向けて引き裂かれ、王冠1からタブ6と両側スコア7間の部分が離脱し、王冠1の残った部分は両側に押し広げることで、瓶口から手で簡単に取り外すことができ、このように、王冠1の開栓作業は手で行えることになり、開栓に栓抜きは不要になる。

【0025】

図5(A)乃至(C)は、封緘具の第3の実施の形態として瓶口に嵌着するアルミキャップを示し、このアルミキャップ11は、天板12の周囲に環状の周壁13を設け、周壁13の下端部内周に瓶口の外周小径部分に係合する突条14が設けられている。 30

【0026】

このアルミキャップ11の天板12には、上記第1又は第2の実施の形態で示したと同じ構造のタブ6が設けられ、スコア7は、スリット4の両端部から周壁13の端縁に達している。

【0027】

図5(A)の第1の例は、替栓タイプのアルミキャップであり、アルミキャップ11は、瓶口に嵌着した状態で周壁13を絞り込むことによって瓶口に取り付け、瓶口の外周に設けた雄ねじ15に内周の雌ねじ16を螺合した替栓17がアルミキャップ11を覆っている。なお、アルミキャップ11の天板12の内面と瓶口の端部にパッキン18を介在させて密閉性を高めている。 40

【0028】

図5(B)の第2の例のアルミキャップは、オーバーキャップタイプであり、瓶口に取り付けたアルミキャップ11の外面に、合成樹脂等からなるオーバーキャップ19を弾力的に被せて取り付けるようにしたものである。

【0029】

図5(C)の第3の例のアルミキャップは、シュリンクフィルムタイプに使用したものであり、瓶口にアルミキャップ11を取り付け、瓶容器Aの外周をシュリンクフィルム20で覆うようにしている。このシュリンクフィルム20の上端部は周壁13に重ねることに 50

なるが、アルミキャップ 1 1 の周壁 1 3 は下方への突出部分がないので、シュリンクフィルム 2 0 による包装の形態が美しく仕上がることになる。

【 0 0 3 0 】

上記第 3 の実施の形態のアルミキャップ 1 1 は、替栓 1 7 やオーバーキャップ 1 9 を取り外した後、上述した第 1 又は第 2 の実施の形態の王冠 1 の場合と同様、タブ 6 を指先で引っ張ることにより速やかに開封することができる。

【 0 0 3 1 】

【 発明の効果 】

以上のように、この発明によると、瓶口に取り付ける封緘具の天板にタブを引き起し可能に形成し、上記封緘具の天板とスカート又は周壁に、タブの両側の位置からスカート又は周壁の端縁に達するスコアを設けたので、瓶口を閉栓する封緘具の開栓が手でタブを引き起して引っ張るだけで行えることになり、栓抜きを必要とすることなく内容物を飲用できるようになる。

10

【 0 0 3 2 】

また、タブを封緘具の天板に直接形成するようにすれば、別の材料が不要になり、コスト的に有利となる。

【 0 0 3 3 】

さらに、封緘具が天板の周囲に環状の周壁を設けたキャップの場合、このキャップの天板にタブを引き起し可能に形成することで、周壁の下縁から突出していたリンブルが不要になり、リンブルの分だけ容器や替栓の寸法を短くすることができ、さらに、容器の外周をシュリンクフィルムで覆う場合、リンブルが無いことでシュリンクフィルムによる包装の仕上がり形態が美しく仕上がる。

20

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 封緘具の第 1 の実施の形態である王冠を示す使用状態の斜視図

【 図 2 】 同上の拡大した縦断面図

【 図 3 】 封緘具の第 2 の実施の形態である王冠を示す使用状態の斜視図

【 図 4 】 同上の拡大した縦断面図

【 図 5 】 (A) は封緘具の第 3 の実施の形態であるアルミキャップの第 1 の例を示す使用状態の縦断面図、(B) は同第 2 の例を示す使用状態の縦断面図、(C) は同第 3 の例を示す使用状態の縦断面図

30

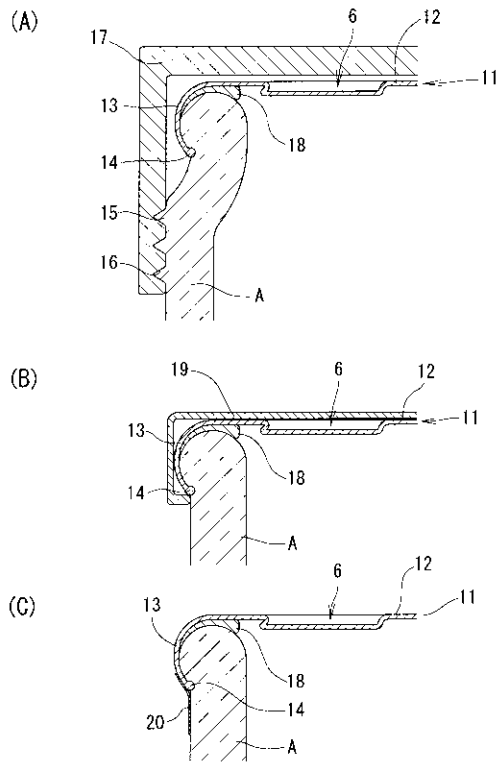
【 符号の説明 】

- 1 王冠
- 2 天板
- 3 スカート
- 4 スリット
- 5 指かけ凹部
- 6 タブ
- 7 スコア
- 8 シール部材
- 9 指かけ孔
- 1 0 裏当てプレート
- 1 1 アルミキャップ
- 1 2 天板
- 1 3 周壁
- 1 4 突条
- 1 5 雄ねじ
- 1 6 雌ねじ
- 1 7 替栓
- 1 8 パッキン
- 1 9 オーバーキャップ

40

50

【 図 5 】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E084 AA04 AA12 AA32 AB02 BA01 BA02 CA01 CB01 CB04 CC01
DA01 DB01 DB11 DC01 FA09 FD08 GA08 GB08 GB17 HA02
HB03 HC03 HD01